

2024 年 4 月 16 日 (火) | ハービスホール 開催

アジェンダ (受付開始 12:15-)

13:00-
14:00

キーノート：開発者のための次世代 AI（仮）

キーノートでは、Microsoft Cloud のソリューションにAIを組み込み、開発者が Azure で利用可能なツールやサービスを使用して、独自のAIアプリを構築する方法をデモとお客様事例を交えて紹介します。AI と Microsoft Copilot のパワーを活用して、生産性とイノベーションを加速する方法を学びましょう。



日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員
クラウド&AIソリューション事業本部
アプリケーション開発統括本部長
榎並 利晃



日本マイクロソフト株式会社
クラウド&AIソリューション事業本部
アプリケーション開発統括本部
技術統括本部長
平野 和順



西日本旅客鉄道株式会社
理事 鉄道本部 副本部長
イノベーション本部長
田淵 剛 氏

14:15-
14:55

[A1] Developers! Developers! Developers! ~ AI 時代の Microsoft 開発ツール総まとめ

Developers! Developers! Developers! という言葉を聞くと懐かしく思われる方も多いかもしれません。AI 時代の今になっても、アプリケーション開発の主役は開発者の皆様です。そして、創業以来、マイクロソフトの中核の一つとして、社内外の開発者を支えているのがマイクロソフトの開発ツール & プラットフォームです。Visual Studio / VS Code に代表される開発ツールと、その開発プロセスを支える GitHub に加えて、AI 活用には欠かせない Azure AI Studio や Microsoft Copilot Studio などのプラットフォームも登場しています。更には、昨今注目されているプラットフォームエンジニアリングにおけるプラクティスと、Microsoft Dev Box や Azure Deployment Environment を活用することで、開発者エクスペリエンスと各開発チームのセキュリティ、コンプライアンス、コスト、およびビジネス実現までの Time-to-Value を向上します。本セッションでは、マイクロソフトの開発ツールに向けたビジョンとともに、最新の開発ツールとプラットフォームを活用した生産性を大きく向上するセキュアなエンドツーエンドの開発者エクスペリエンスを紹介します。



日本マイクロソフト株式会社
カスタマーサクセス事業本部
App Innovation アーキテクト第一本部 本部長
井上 章

14:15-
14:55

[B1] 進化する生成 AI の現在 ～ Azure AI で始める生成 AI 活用

生成AI "元年" とも呼ばれた 2023 年。今年、2024 年のトレンドは、実際に生成 AI に触れた上で実業務に取り入れてゆくフェーズに移り変わっています。このセッションでは Azure OpenAI Service、Azure Machine Learning、Azure AI Search など、Azure AI サービスをご利用いただくことで、生成 AI の活用に Jump-in できる方法をご紹介します。



Microsoft Corporation
Asia AI Global Blackbelt
Technical Specialist
大森 彩子

15:10-
15:50

[A2] GitHub Copilot を最大限に活用するための実践的なテクニック

AI 支援コーディングは単なる宣伝文句ではありません。しかし、強力なツールである GitHub Copilot を最大限に活用するためには、正しい使い方をすることが重要です。このセッションでは、Copilot の仕組みやベストプラクティス、AI が現実の開発者に提供できる実用的な利点を紹介します。GitHub Copilot はコードの書き方を変えるでしょう。ただし、それは開発者がクリエイティブであり、情報を単に受け入れるのではなく、疑問を抱いたり検証したりする姿勢がある場合にのみ成り立ちます。AI の実力は、それを使う開発者のスキルに依存しています。



Microsoft Corporation
Sr. Cloud Advocate
寺田 佳央

15:10-15:50	[B2] Azure AI Studio で RAG アプリケーションを構築するためのプロンプト フロー（仮） プロンプト フローとは何か、LLMを使用してインテリジェントなアプリケーションをどのように作成するのか？このセッションでは、VS Codeを使用したコードファーストエクスペリエンスで、プロンプト フロー アプリケーションをエンドツーエンドで構築する方法を学びます。次にRAG（Retrieval Augmented Generation）操作を独自のデータに実装して、豊富な機能を追加する方法を学びます。最後に Azure AI Studio の機能をシームレスに活用して、アプリケーションを共有し、評価する方法をご説明します。ぜひご参加ください。	
	 日本マイクロソフト株式会社 カスタマーサクセス事業本部 シニア クラウド ソリューション アーキテクト 島山 大有	
16:05-16:35	[A3] MVC から MVA モデルへ： 生成 AI を組み込んだ次世代 AI 駆動アーキテクチャ設計思想 このセッションでは、次世代のアプリ設計思想について学ぶことができます。2 つのセクションに分かれており、前半では生成 AI の登場により、従来の MVC モデルにおけるコントローラ部が AI に置き換わる MVA モデルが、自律的にアプリ全体のフローを制御する設計理論について紹介します。後半では、MVA モデルの実践的な側面に詳しく触れ、AI アバター（パーソナルエージェント）での実装プロセスや事例を交えながら紹介します。	
	 日本マイクロソフト株式会社 クラウド & AI ソリューション事業本部 アプリケーション開発統括/営業本部 上野 肇	 日本マイクロソフト株式会社 クラウド & AI ソリューション事業本部 アプリケーション開発統括/技術本部 山本 晃平
16:05-16:35	[B3] JR西日本様事例紹介 講演内容調整中	
	 西日本旅客鉄道株式会社 デジタルソリューション本部 DX人財開発室 中司 桂一 氏	 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 イノベーション本部 鉄道システム室 堀 達広 氏
16:50-17:30	[A4] 生成 AI アプリ開発のためのベクトル検索と最先端の検索技術 生成 AI アプリは、「RAG (Retrieval-Augmented Generation)」への依存がますます強まり、応答に特定の補足データを組み込むことが不可欠となっています。このセッションでは、RAG パターンの情報検索要素に焦点を当て、ベクトル検索、ハイブリッド検索、および再ランク付けモデルが結果の関連性をどのように向上させるかについて詳しく説明します。またライブコード、広範な評価からのデータを使用して、検索品質に関する概念をご紹介します。	
	 日本マイクロソフト株式会社 パートナー事業本部 AI & Azure アーキテクト本部 パートナー ソリューション アーキテクト 花ヶ崎 伸祐	
16:50-17:30	[B4] Microsoft Fabric を用いた AI 活用のためのデータ分析 Microsoft Fabric は、企業向けの強力なオールインワンの AI 搭載の分析ソリューションで、データの移動からデータサイエンス、リアルタイムアナリティクス、ビジネスインテリジェンスまで網羅し、データを AI の時代へと導きます。このセッションでは、競争上の優位性を築くための最新のコスト効果の高い分析手法を学び、Microsoft Fabric がお客様にどのように価値ある解決策を提供するかについてご説明します。	
	 日本マイクロソフト株式会社 クラウド & AI ソリューション 事業本部 Technology Specialist Jiayi Yang	 日本マイクロソフト株式会社 Fabric CAT (Customer Advisory Team) Senior Program Manager Eiki Sui
17:30-18:45	イブニング ミキサー（懇親会）	

※セッションの内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



イベント参加登録・最新情報はこちら

<https://aka.ms/aidayosaka>